

国語科学習指導案

平成18年11月7日（火）第3校時

於：図書室 指導者 下田 一貴

—授業の視点—

「キーワードインデックス」や「情報ラベル」を活用して、収集・整理した情報についてグループによる情報交換を取り入れたことは、目的や相手に応じた正しい情報の取捨選択する力をはぐくむ上で有効であったか。

I 目指す言語能力

様々な種類の文章を読み、必要な情報を集める能力 【C読むこと（力）】

II 題材名

読んで、調べて、「江戸の知恵」を伝え合おう

III 考察

1 生徒の実態（男子21名、女子7名、計28名）

中学校入学後、「読むこと」の説明的な文章では、3つの教材について学習した。最初の「ちょっと立ち止まって」では、「文章の中でそれぞれの段落がどのような働きをしているか考える。」ということを目指して授業を行った。ほとんどの生徒は形式段落の順序を考えたり、意味段落に分けたりする学習活動を通して、それぞれの段落の働きをとらえることができた。二つめの「クジラたちの声」では、「文章の構成や展開をとらえ、筆者のものの見方や考え方を理解する。」ということを目指して授業を行った。問題提起の段落や答えの段落を探したり、全体を導入・本文・まとめの三つに分けたりする学習活動を通して、ほとんどの生徒は文章構成をとらえることができた。三つめの「未来をひらく微生物」では、「文章の展開に即して内容を正確にとらえ目的や必要に応じて、的確に要約する」ということを目標として授業を行った。キーワードや段落相互の関係に着目して文章の構成を正確にとらえながら、要約する方法を身に付けてきた。しかし、2つの教材ともに、筆者のものの見方や考え方をとらえた上で、筆者の主張と自分の経験を照らし合わせて考えたり、自分の意見をもったり、新たな疑問についてさらに調べたりしようとする態度はあまり見られなかった。

【国語への関心・意欲・態度】

1学期、「ちょっと立ち止まって」「クジラたちの声」の学習後、説明的な文章の学習についての意識調査を実施した。以下はその結果である。

1 説明的文章（説明文）の学習（授業）を楽しんだことがありますか。

ア よくある（9名） イ ときどきある（18名） ウ ほとんどない（1名） エ まったくない（0名）

ア、イと答えた理由は、「知らないことがわかるから」や「文章が理解できたときうれしいから」といったものが多く挙げられた。ウと答えた生徒の理由は、「わからないから」である。アと答えた生徒は3分の1程度であるが、イと答えた生徒も含めるとほとんどの生徒が説明的な文章の学習に楽しさを感じていることが分かる。

2 説明的な文章の学習で、楽しいと感じるのは、どんなことですか。

・関連する内容について調べる（16名） ・音読（11名） ・キーワード探し（10名） ・関連した本を読む（10名） ・意味調べ（9名） ・段落の要約（9名） ・読んだことや調べたことを書く（8名） ・感想を書く（7名） ・読んだことや調べたことを発表する（5名） ・筆者の考えをとらえる（4名）

3 説明的な文章の学習で、楽しくないと感じるのは、どんなことですか。

・感想を書く（16名） ・読んだことや調べたことを発表する（10名） ・段落の要約（7名） ・筆者の考えをとらえる（7名） ・読んだことや調べたことを書く（5名） ・関連した本を読む（4名） ・関連

する内容について調べる（3名） ・音読（3名） ・意味調べ（2名） ・キーワード探し（2名）

発展段階と導入段階での学習活動に対して「楽しい」と感じる生徒が多いことが分かる。一方、内容をつかむ段階での学習活動を「楽しい」と感じる生徒が少なく、「楽しくない」と感じる生徒が多くなっている。また、感想を書いたり、調べたことを発表したりする表現活動に抵抗を感じている生徒が多い。

4 授業で学習した説明的な文章の内容に関連する情報を本やインターネット等で調べることに興味がありますか。

ア おおいにある（6名） イ ある（15名） ウ どちらともいえない（4名） エ あまりない（3名）

4分の3の生徒は発展的な調べ学習に対して興味をもっている。理由については、調べることで新たな発見や理解の深まりに喜びを感じるといった、知的好奇心が満たされるという理由を挙げる生徒が多かった。ウ、エと答えた理由については、「調べることが好きでない。」や「友達と一緒に楽しい。」「興味がないことを調べるのはいやだ。」といったものが挙げられた。

【読む能力】

説明的な文章の単元テストの「読むこと」に対する正答率は6～7割程度である。9割以上の上位群は2名と少なく、中位群が多い。3割以下の下位群は5名である。

週に3回の「朝の読書」の時間は全員が集中して本を読んでいる。しかし、1冊の本を継続して読めない生徒もいる。読書傾向については、物語や小説などのフィクションを読む生徒が圧倒的に多い。

【言語についての知識・理解・技能】

語彙力や文章中の語彙に対する関心には個人差が大きい。段落の役割について考えることは、既習教材で取り上げ、多くの生徒が段落の働きや、相互関係について理解できていた。文と文との接続関係については、接続の仕方や接続する語句等は取り立ててまだ指導していないが、一文一文に着目し、接続関係をとらえ、個々の段落や文章全体を理解していく力が付いてきている生徒が多い。

2 指導内容と教材のかかわり（教材観）

① 教材名 江戸からのメッセージ ―今に生かしたい江戸の知恵―（光村図書）

② 指導内容と教材のかかわり

本教材は「江戸っ子」の生活の様子を紹介した文章である。まずは、説明的な文章の既習事項を生かしながら、文章の正確な読み取りを図りたい。文章構成は、三つの大段落に分けられる。要旨は、「江戸っ子の与えられた空間の中で、物を大切に、助け合って生活していく心の豊かさを知ることができる。そして、江戸の生活の中から現在の私たちの物の豊かさについて考えることができる」というものである。1学年の説明的文章の学習の仕上げとして、このような文章構成や要旨をとらえさせたい。また、具体的な事例が多く取り上げられていて、筆者の主張もとらえやすいので、それをしっかりと受け止めさせ、感想や意見をもたせたい。そして次に、「江戸っ子の知恵」について、生徒各自が興味をもったことをさらに追究するために、テーマを決め、関連図書を活用して、情報を収集・整理・取捨選択をする。そして、ポスターセッションの手法で発信する。本教材は筆者の数多い江戸に関する図書の一つの一部分を書き改めたものであり、「江戸っ子の知恵」のほんの触りになっている。生徒の好奇心を喚起しながら、さらに情報を集めようとする意欲や、違う図書を読んでみようという意欲を高めるのに適している。

Ⅲ 指導の目標・指導計画・評価計画

（10時間予定：本時はその7時間目）

○おおむね満足 ☆十分満足

指導の目標	評価基準		
	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解・技能
○要旨をとらえ、筆者が述べようとしていることをとら	○課題について調べたり、筆者の思いを深	○文章の要旨を踏まえ、表現されているものの見方や考え方を理解している。	○教材文や関連図書の文

	える。 ○文章に関連する書物から情報を得るための読み方ができる。	くとらえたりするために、進んで情報を収集しようとしている。	○課題に即してさまざまな種類の文章を読み、必要な情報を収集するための読み方を身に付け、情報を活用して読んでいる。	章中の多様な語句について理解を深めている。
過程	学 習 計 画	時間	評 価 項 目	
			関心・意欲・態度	読む能力 知識・理解・技能
つかむ	○全文を通読し、初発の感想を書く。 ○「江戸の暮らしや知恵」にかかわるキーワードを見付け、三つの意味段落の要点を整理する。	1	○三つの大段落に小見出しを付けている。 * ☆三つの大段落に小見出しを工夫して付けている。	○「リサイクル」「物の豊かさ」「心の豊かさ」という語句に着目している。 ☆「リサイクル」「物の豊かさ」「心の豊かさ」という語句から「江戸の暮らしや知恵」について、感想や意見をもっている。
	○大段落ごとの要点を基に、要旨をまとめる。 ○要旨を踏まえて、筆者がこの文章で述べようとしていることをまとめる。	1	○キーワードやキーセンテンスの引用を用いて要旨をまとめている。 ☆キーワードを正確にとらえ、内容を整理して要約している。 ○江戸っ子の暮らしや豊かさについての感想をもっている。 ☆江戸っ子の暮らしや豊かさから、自分たちの生活を見直している。	○多様な語句について理解を深めるとともに語彙に関心をもっている。 ☆多様な語句について理解を深めるとともに、語彙に関心をもち、語句の意味についても理解している。
深める	○教材文から学習テーマを設定する。	1	○課題について関心をもち、テーマを設定している。 ☆課題について関心をもち調べることが明確なテーマを設定している。	○教材文の要旨をとらえた上で、自分のものの見方や考え方を広くするテーマを設定している。 ☆教材文の要旨をとらえた上で、現代のわたしたちの生活と比較可能なテーマを設定している。
	○学習テーマを基に、収集したい情報に含れているであろうキーワードを「キーワードインデックス」に書き込み、書物を探す。	1	○目次や索引から、必要な情報があるかどうか判断し、必要な情報を探し、記録している。 * ☆目次や索引から、必要な情報があるかどうか判断し、必要な情報を探し、記録することができるとともに、うまく探せない友達に手助けして情報を得ている。	◇
	○収集している情報の単語メモ等を「情報ラベル」に書き込む。 ○収集した情報の概要が分かるように「情報ラベル」に整理する。	2	○キーワードを手がかりにして、内容を整理し、小見出しを付けたり、要約したりしている。 * ☆キーワードを手がかりにして、内容を順序よく整理し、工夫して小見出しを付けたり、要約したりしている。 ○目的や相手を意識して、収集した情報の重要度を判断している。 ☆目的や相手を意識して、収集した情報の重要度について説明することができる。	◇
	○「情報ラベル」を活用した「情報交換会」を通して、情報を取捨選択する。	1	○話し合いにおいて発言したり、友だちの発言を注意して聞き取ったりしようとしている。 ☆説明された情報や書物に興味をもち、情報交換を深め合える発言をしようとしている。	○目的や相手を意識して、収集した情報を取捨選択している。 ☆目的や相手を意識して、収集した情報を根拠や基準を明確にしながら取捨選択している。
	○グループで紹介する情報を		○グループの発表の内容を理解	○目的や相手を意識して、自分や友達

	選択する。	1	し、取り上げる情報について検討しようとしている。 ☆グループの発表について積極的に意見を述べて話し合いの流れをつくろうとしている。	が収集した情報を取捨選択している。 ☆目的や相手を意識して、自分や友達が収集した情報を根拠や規準を明確にしながら取捨選択している。	◇
ま と め る	○グループで話し合いながらポスターを作成する。	1	○選択した情報を基に、友達と協力してポスターを制作しようとしている。 ☆選択した情報を基に、友達と協力し楽しさを味わいながらポスターを制作しようとしている。		□◇
	○ポスターセッションを行い調べたことを交流し合う。	1	○理解を深めたり、ものの見方や考え方を広くしたりしようとしながらセッションに参加している。 ☆より理解を深めたり、ものの見方や考え方を広くしたりしようと、積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。		□◇

IV 学習指導の方針及び配慮事項

- 主体的な学習意欲や学習態度をはぐくむために、どの段階においても、個別学習、グループ学習、一斉学習という三つの学習形態を取り入れ、「自分の情報や意見をもつ」「自分の情報や意見を説明する」「他人の情報や意見を聞く」ということを基本的な授業の進め方とする。

【つかむ段階】

- ワークシートを活用し、要旨をまとめる際の負担を軽減できるようにする。
- 「江戸っ子たちの暮らしぶり」の価値に気付き、興味が高まるように、「ものの豊かさ」や「心の豊かさ」という観点から江戸の生活と現代の生活を振り返らせ、自分の考えをもたせる。

【深める段階】

- 教材文に関連する書物から情報を収集することにより、教材文の内容や筆者の主張についての理解を広げたり深めたりできるようにする。
- 調べ学習の大テーマは以下の7つとし、生徒の希望により決定するが、1つの大テーマを4人のグループで担当するようにし、協力的に学習が進められるようにする。
 - (1) 江戸の住居 (2) 江戸の食文化 (3) 江戸のファッション (4) 江戸の職業・ボランティア (5) 江戸の経済 (6) 江戸の教育と子ども (7) 江戸の楽しみ(趣味・遊び)
- 大テーマから、図鑑や事典を参考にしたり、マッピングを行ったりして、具体的な小テーマを一人一人が設定する。必要に応じてさらにテーマを絞り込ませることにより、収集する情報を明確化させていく。
- 関連書物は40冊程度用意し、一人一冊は常に手にできるようにしたり、2冊以上の書物に載っている情報を比較したりできるようにする。
- より理解を広げたり、深めたりできるよう、休み時間や家庭でも関連書物を読むように促す。
- キーワードを意識し、目次や索引を活用して情報の収集ができるように、「キーワードインデックス」を活用させる。
- 必要な情報の部分を抜き書きしたり、メモを取ったりして、情報概要がわかるように整理ができるように、「情報ラベル」を活用する。
- 情報を取捨選択する際に、異なる学習テーマの者同士でグループを構成する情報交換会を通して、友達の意見を参考にしながら、目的や相手を意識した取捨選択が行えるようにする。

【まとめる段階】

- ポスターセッションは、同じ学習テーマの者同士で4人のグループを構成し、互いに助け合いながら、ポスターの作成とセッションが行えるようにする。
- ポスターセッションは1時間で実施し、前半は3つのグループが4つのグループのコーナーを巡

回し、後半は4つのグループが3つのコーナーを巡回するようにさせ、活発な質疑応答や意見交流ができるようにする。

- 教材文の要旨や筆者の主張をより深く理解できるように、調べたことと現代の生活を比べた感想や考えを発表させる。
- 読書の幅が広がるように、セッションの中で書物の紹介をさせたり、自分の調べたテーマ以外の書物も読むように促したりしていく。

V 授業中における生徒指導上の留意点

- 発言やつぶやき、ワークシート等の記述、友達との言葉のやりとり等、学習中の様々な局面における行動観察から、生徒一人一人の課題に対する思いをとらえる。
- グループや全体で交流する場面を設定し、生徒一人一人の多様な個性が教師からも友達からも認められるようにする。
- 学習過程の中にグループ学習を取り入れることによって、触れ合いの機会を増やし、一人一人の意見や考えを大事にしながら、友達のよさを見付けられるよう配慮する。

VI 本時の学習

- ねらい 整理した情報を交流し合う情報交換会を経て、目的や相手を意識して情報の取捨選択を行う。
- 準備 指導者・・・関連図書、掲示用プリント、情報交換会記録シート、振り返りシート
生徒・・・キーワードインデックス、情報ラベル
- 本時の展開

段階	学 習 活 動	時間	学習の支援及び留意事項	評価項目
つかむ	○本時の学習内容について確認する。 テーマが違う者同士の4人グループで行う情報交換会を通して、情報の取捨選択をする。	5分	○「情報ラベル」を基に、質疑応答をしたり、意見の交流をしながら、情報の再整理をしたり、情報を広げたりしてから、情報を取捨選択するという情報交換会のねらいについて説明する。 ○グループについては、前時に発表しておく。	
深める	○情報交換会の流れについて確認する。 ○情報交換会を開始する。 情報交換会の流れ 【発表者】〔2分〕 ・小テーマの設定理由を説明する。 ・情報ラベルを基に収集、整理した情報について説明する。 【他のメンバー】〔3分〕 ①質問 ・分かりにくいところ。 ②感想 ・おもしろいと思ったところ。 ・興味をもったところ。 ③意見（アドバイス）の観点 ・テーマ、小テーマに沿っているか。 ・大まかすぎたり、細かすぎたりし	25分	○情報交換の仕方については、前時に詳しく説明しておく。 ○発表順は司会の反対側の生徒から右回りにさせていく。 ○質問・感想・意見・情報ラベル並べは、それぞれ発表者の右隣の生徒から右回りにさせていく。 ○一人一人の情報ラベルをおもしろい順に並べ変え、関心の高さや興味の傾向が把握できるようにさせる。 【発表者への支援】 ○インデックスや情報ラベルを提示しながら、情報を収集した本についてのブックトークも織り交ぜさせる。必要に応じて図書の関連するページを見せるようにさせる。	[関心・意欲・態度] ○発表の手順を理解し、情報について説明しようとしたり、友達の説明を注意深く聞こうとしている。 ☆友達の説明から、説明された情報や書物に興味をもち、情報交換を深め合える発言をしようとしている。 [観察・振り返りシート]

	ないか。 ・もっと知りたいことはないか。 ・もっと興味を引かれることはないか。 ・友達の関連図書の目次や索引を見ておもしろそうな情報がないか探す。 ・情報ラベルをおもしろいと思った順に並べる。 【全員】〔1分〕 ・情報記録シートに相互評価を記入する。		○友達の助言や、おもしろいと思った順番を情報ラベルのメモ欄に記入させる。 【説明を聞く生徒への支援】 ○大まか過ぎていたり、専門的で詳しくしたりしていないかに注意させる。 ○時間の範囲内で友達の関連図書の目次や索引からおもしろそうな情報を探し、助言させる。 相互評価の観点 【発表者】 ・分かりやすく発表していたか。 【他のメンバー】 ・情報交換会で、積極的に質問や意見を出していたか。	
	○情報の再整理を行う。 ・情報ラベルの重要度、信頼性、おもしろさの☆印を塗りつぶす。 ・情報ラベルを修正する。 ・重要度やおもしろさについて再検討する。 ・情報のナンバーリングを行う。 【予想される生徒の姿】 ①情報ラベルが不完全なままである。 ②情報ラベルを修正しない。 ③ナンバーリングができない。	10分	○新しく収集しなければならない情報がある時は、インデックスにキーワードを書き込ませ、新しい情報ラベルを用意させる。 ○メモ欄を活用し、情報を付け加えたり、小見出しの修正をしたりさせる。 ○他の人の意見も参考にしながら、相手や目的を意識して、重要な順にナンバーリングさせる。 【生徒の反応に対する支援】 ①他のメンバーに質問や意見を言わせながら支援させる。 ②相手を意識させながら付け加える箇所を考えさせる。 ③他のメンバーの意見を参考にさせ、相手の興味を予想してナンバーリングさせる。 ○情報交換会が早く終わったグループには、情報を広げさせたり、興味をもった本を読ませておく。	〔読むこと〕 ○目的や相手を意識しながら、情報を取捨選択している。 ☆目的や相手を意識しながら、情報の価値について、十分に吟味して、根拠や規準を明確にしながら取捨選択している。 〔情報ラベルへの記述〕
まとめ	○友達の情報ラベルやキーワードインデックスを基にした、情報についての説明を聞く。 ○振り返りシートに自己評価を記入する。	10分	○何名かの生徒に説明させ、次時の同じ大テーマの者同士の話し合いの時の説明に生かせるようにさせる。	

キーワード・インデックス

氏 名

大テーマ

中テーマ

小テーマ

キ ー ワ ー ド	関連するキーワード	さらに関連するキーワード	書名	ページ

氏名

情 報 ラ ベ ル

No

重要度 ☆☆☆☆☆
おもしろさ ☆☆☆☆☆

信頼性 ☆☆☆☆☆

大テーマ

中テーマ

小テーマ

小見出しまたは概要

~~~~~ メモ（友達に伝えたいこと、覚えておきたいことなどを書こう） ~~~~~

書名

ページ

～

著者名

出版社名

## 振り返りシート

氏 名 \_\_\_\_\_

|                                          |         |
|------------------------------------------|---------|
| 1 情報交換会で、情報を分かりやすく整理して説明することができたか。       | A B C D |
| 2 情報交換会で、積極的に質問や意見を言うことができたか。            | A B C D |
| 3 情報交換会で話し合ったことを参考にして、情報の取捨選択をすることができたか。 | A B C D |

☆ この時間の感想を書いてください。

-----

-----

-----

-----

-----

## 情報交換会記録シート

氏名 \_\_\_\_\_

- ① 情報交換会で、情報を再整理したり、取捨選択したりするのに、参考になりそうな意見(アドバイス)を記録しましょう。

| 参考になる意見（アドバイス） | 意見を言ってくれた人 |
|----------------|------------|
|                |            |

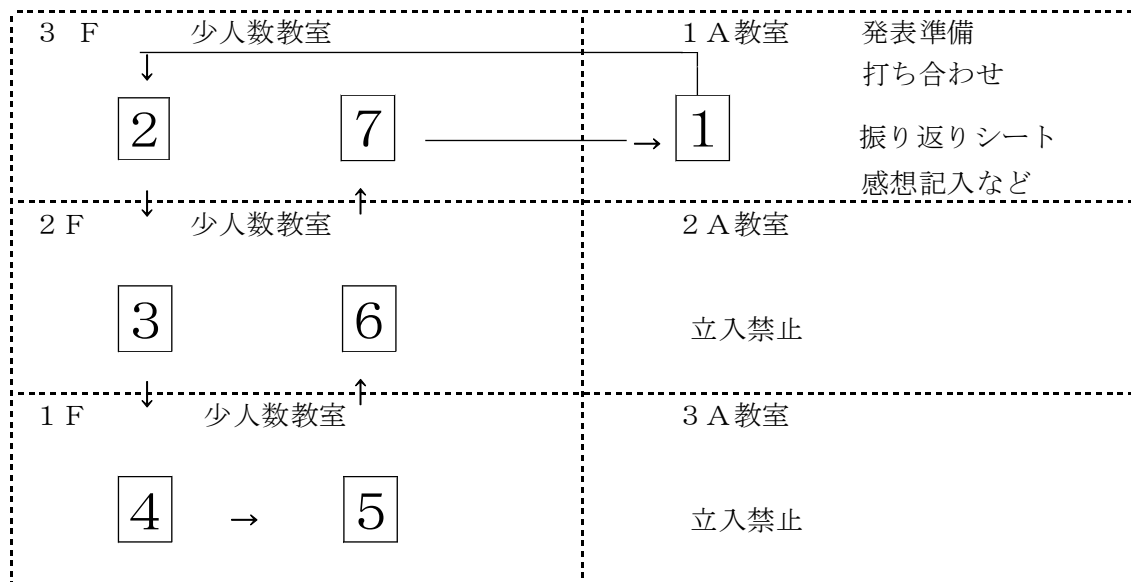
- ② 相互評価してください。

◎たいへんあてはまる      ○まあまああてはまる      △あてはまらない

| 氏 名                                   |  |  |  |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 項 目                                   |  |  |  |
| 1 情報交換会で、積極的に質問や意見を出していた。             |  |  |  |
| 2 自分の集めた情報について分かりやすく発表していた。           |  |  |  |
| 3 聞いていて興味を引かれるテーマを設定したり、情報を収集したりしている。 |  |  |  |

## ポスターセッション

### 教室差配置及びローテーション



#### 発表の流れ

**班長**：「私たちの班の大テーマは〇〇〇です。では、一人ずつ発表します。」

**班員**「私は〇〇〇についてまとめてみました。・・・。」などと4人が発表。

**班長**「質問はありませんか。」

**聞いていた班**

「●●さんに質問です。・・・。」と活発に質問を出す。質問に対しては、すぐに答える。分からなければ、「後で調べて教えます。」と言う。ここまでを10分で行う。

#### 10:35 開始

- ☆ 発表時間は4分。後の班は質問（3分）。先の班が発表して、7分たったら交代。（時計を見て）
- ☆ 先の班が終わったら後の班が発表。先の班は質問。7分たったら終了。（鐘を鳴らします）
- ☆ 一斉に移動。ローテーション通りに。1分で移動完了。（以下繰り返す）
- ☆ 終了(12:25 予定) 後、1 Aに戻り振り返りシートの記入。インデックス、ラベルを提出できるようにしておく。

#### 注意

- ◎ 移動、黒板掲示を素早く
- ◎ 教室にある物に勝手に触れない。
- ◎ 最後の発表が終わったら、磁石の回収を忘れない。
- ◎ 模造紙は昼休みに掲示。

# 振り返りシート

氏 名

## I 自己評価

|                                                   |         |
|---------------------------------------------------|---------|
| 1 ポスターセッションで、情報を分かりやすく整理して説明することができたか。            | A B C D |
| 2 ポスターセッションで、積極的に質問をすることができたか。                    | A B C D |
| 3 ポスターセッションから、江戸と現代を比較したり、江戸の人々の知恵を感じたりすることができたか。 | A B C D |

## II 次の質問に当てはまる人の名前を書いてください。

- 1 ポスターセッションで、情報がよく整理されていて、分かりやすい説明をしていた人

- 2 ポスターセッションで、積極的に質問していた人

☆ この時間の感想を書いてください。